

健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下 CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。

【教育方法】

学生が社会人となったときに必要となる幅広い教養や知識、人との関わりの中で求められるマナーやコミュニケーション能力を身につけるための指導を、4年間を通じ「フレッシュセミナー」「アドバンスセミナー」等において継続的に行っています。また、救急救命士やトレーナー及び教職の資格取得や公務員対策のための講座において、入門レベルから中級レベルまでのいくつかのクラスを設け、十分な時間をかけて指導の充実を図っています。

【教育の特色ある工夫】

救急救命士コース

- ・ 3年次に履修する「救急用自動車同乗実習」について
- ・ この実習は、学内実習と学外実習（消防署実習）を複合した実習科目です。2年次までに学修した内容の復習と実際の救急現場を想定した演習を行います。大学の実習用救急車2台を活用し、学生のみで救急隊を編成し、現在のシナリオをクローズにした状態で、現場での安全管理・傷病者の観察・医学的判断・救急処置・病院選定・搬送・病院への引継ぎまでの一連の救急活動をリアルに再現しています。また、消防団学生部の小型動力ポンプ積載車を用いて、各種災害（火災・救助）やトリアージ訓練も実施して現場対応能力の向上に努めています。さらに、消防署実習では、学生の進路希望先を考慮し消防機関に依頼し、救急車に学生を同乗させ、実際の救急現場を体験させることで、キャリア教育にも寄与しています。本コースは建学の精神である実学を一番の教育目標として質の高い救急救命士養成教育を実践しています。

- ・ 救急救命士コースの一部学生が市原市消防団学生部に入団しています。

2022年5月1日に千葉キャンパスを拠点とする市原市消防団学生部が発足し、現在、教員2名を含む84名で活動しています。総務省消防庁から貸与された救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車を配備し、災害出動に備えた放水訓練や資機材取扱い訓練を重ねています。また、市原市消防団の一員として市原市消防局と連携し、水防訓練や火災予防などの広報活動にも参加しています。

トレーナー・スポーツコース

- ・ 体育・スポーツや健康増進の現場で活躍する知識と実践能力を備えた人材を養成し、その実践能力の証しとして中学校・高等学校教諭一種免許状（保健体育）や、アスレティックトレーナー、トレーニング指導者など様々な健康・スポーツ系資格を取得できるカリキュラムを用意しています。
- ・ 国際性を育む目的で、米国「デンバー研修」を実施しています。学術協定を結んでいる北コロラド大学で現地の学生とともにアスレティックトレーニングについて学びます。また、近隣の大学・スポーツ施設の見学やプロスポーツの試合観戦を通して米国のスポーツを体感します。
- ・ 学内にある総合型地域スポーツクラブ帝京平成スポーツアカデミーでの指導実習や、地域小・中学校でのボランティア活動などを積極的に展開して実践的な指導力を身につけるとともに、地域連携として様々なスポーツイベントにボランティア参加することで社会人基礎力を養成しています。
- ・ 1 年次では、スポーツ指導者に必要な専門科目を基礎から学びながら幅広い教養を身につけることができます。
- ・ 2 年次では、学内の充実した設備での実習や実技授業により理論と実践の融合を図っています。
- ・ 3 年次以降では、スポーツ現場や教育実習における実践的な指導力を身につけ、資格取得に向けた学修の仕上げを行います。またインターンシップを通じて、スポーツ関連企業への就職につながるキャリア教育や支援も行っています。

アスリートコース

- ・ 第一線で活躍するアスリートや指導者を養成しつつ、将来のキャリアの為に中学校・高等学校教諭一種免許状（保健体育）やアスレティックトレーナーなど様々な健康・スポーツ系資格を取得できるカリキュラムを用意しています。
- ・ 1、2 年次では、指導経験豊かなコーチングスタッフのもと、授業で学んだスポーツ科学の知識を運動部の活動を通じて実践し、自分自身のパフォーマンス向上につなげるなど優秀なアスリートを目指します。また指導者としてもスポーツを科学的に理解し実践するために必要な基礎科目を学ぶことができます。
- ・ 3 年次以降では、実技授業や実習から実践的な指導方法を身につけ、資格取得に向けた学修の仕上げを行います。
- ・ 強化部としての組織的な活動を通じて、指導者に必要な知識や技術だけではなく、倫理観や人間性、社会人基礎力も高めることができます。
- ・ セミナー教員と強化部コーチングスタッフ、就職支援室が連携して、卒業後の競技継続だけでなく幅広い視点でのキャリア教育と進路指導を行っています。

動物医療コース

- ・ 動物医療の現場で医療者として活躍するための知識と実践能力を備えた人材の養成に向けたカリキュラムを用意しています。
- ・ 1 年、2 年次では、専門基礎科目や専門科目で動物医療従事者にとって必要な知識を学び、教養科目やセミナーを通して視野を広げ創造性や教養を養います。特に 1 年次では、全員が学校犬の飼育管理に携わり、日々の世話や健康管理を通して適切な飼養の知識と実践力を身につけます。
- ・ 2 年、3 年次では、看護理論、高齢動物看護論、リハビリテーション、動物介在活動・療法について学び動物看護学の理解を深めます。補助犬やアニマルセラピー、高齢者とペットとの関わりを題材に、実演や高齢者疑似体験を通して多様な飼い主様への支援方法について学びます。さらに、動物福祉に配慮しつつ地域の多職種と連携し、人と動物の暮らしを支える視点を養います。
- ・ 3 年次以降は、臨床科目やアニマルケアセンターでの見学・実習（愛護団体からの依頼に基づく検査・処置・外科手術等）を通して、動物臨床医療に必要な知識・技術を修得します。4 年次の学外動物病院実習では、これまでに修得した知識・技術を実践の中で総合的に深め、資格取得に向けた最終的な学修を行います。